

研究者の横顔

フリガナ	スギモト アツシ		
お名前	杉本 敦史	助成金額	100 万円
ご所属	大阪公立大学大学院医学研究科肝胆膵外科		
研究テーマ	膵癌微小環境における膵星細胞の脱活性化機構の解明		

1 : 研究者になろうとしたきっかけ

外科医として臨床業務に従事する中で、手術の腕前を磨くだけでは難治性消化器癌を根絶することはできないと考えるようになり、新たな治療開発を行いたいと思い研究を始めました。

2 : 助成研究の内容紹介

膵癌の進展機序における膵星細胞の脱活性化機構を解明して、膵癌に対する膵星細胞を標的とした新たな脱活性化療法の基盤を確立することを目的とします。

3 : 2 の将来に繋がる結果予想・目標

予後不良である膵癌に対して、新たな機序で癌を根絶する治療を目標に、新しい治療薬の臨床応用の礎となる成果を目指します。

4 : 全国の RFL 関係者に一言メッセージ

この度、本研究のご支援をいただき心より感謝申し上げます。将来のがん治療に役立つような成果を出せるよう、精一杯頑張ります。これからも患者さんのためになる研究を続けていきたいと思います。